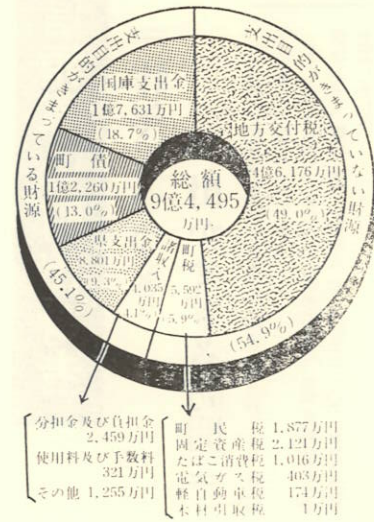


入ってくるお金



でっかい予算 デッカイ町づくり

一般九億四千五百万円 全会計で十二億円

「住みよい、豊かな町づくり」をめざして、昭和四十九年度の各会計予算ができました。これをみますと、一般会計九億四千四百九十五万円、国民健康保険特別会計一億九千五百五十六万円、水道事業会計二千六十万円、学校給食特別会計三千二百六十九万円、公共用地先行取得事業特別会計十五万円、墓地特別会計一千三百四十四万円。

一般会計と五つの特別会計を合わせると、約十二億七千万円という超大型予算が誕生。

一般会計では、昨年の当初予算を四十五・一％(二億九千九百九十九万円)上廻っており、町発足以来の最高に「デッカイ予算」となりました。

デッカイ予算で、海に山に町にでっかい町づくりが行われます。

以下は、そのおもな使いみち。

＝歳入＝

町税は全体の6%

入ってくるお金を円グラフをみながら簡単に説明してみましょう。

町民のみなさんがおさめる町税は約6%の5,592万円。おもな内訳は、町民税が1,877万円、固定資産税2,121万円、たばこ消費税1,016万円、電気ガス税403万円、軽自動車税174万円、木材引取税1万円となっています。

入ってくるお金の半分以上を占める地方交付税は、じつに4億6,176万円を計上。

ついで国庫支出金1億7,631万円(18.7%)町債1億2,260万円(13%)、県支出3,801万円(9.3%)となっています。

＝歳出＝

使われるお金の使いみち

● 議会関係
予算総額 2,054万円。
前年より約 400万円多く、議員さんの報酬1,110万円、議員さんの旅費20万円、議長交際費や議会議事局職員給与や手当がおもなものです。

九町越公園に展望台

● 総務関係
総務費の総額は1億1,240万円。
職員の給与、手当に大きなウェイトをしめているほか、九町越公園展望台建設407万円(建設委託料)。
生活環境整備に100万円。青少年センター設計委託料160万円。原子力対策費149万円。交通安全関係39万円(カーブミラー設置)。
参議院議員選挙費120万円。
区長さんの報酬、研修費等に119万円。伊方越集会所建設委託料35万円。

保育所運営に7,000万円

● 民生関係
前年に比べて3,361万円増。
6カ所の保育所運営費が主体で6,803万円。児童手当に2,674万円。
70歳以上のお年よりの医療費無料化による費用に2,078万円。
川永田保育所設計管理委託料33万円。
老人いこいの家設計委託料31万円。
2人のホームヘルパー賃金139万円。
老人クラブ助成97万円。

敬老会助成64万円(1人当り350→500円)
長寿祝金115万円。
国民年金事務費350万円。
障保館運営費に189万円。

● 衛生関係

予算額 3,568万円。477万円の増。
おもなものでは歯科診療所委託料44万円。成人病、結核検診に72万円。
胃、婦人ガン検診に74万円。
カ、ハエ退治に126万円。
母子栄養食品(牛乳)費230万円。
福祉助産婦賃金26万円。
助産師助手賃金126万円。
水質検査、農業危害防止対策として200万円。0歳児の医療無料化による費用84万円。
八西衛生事務組合負担金240万円。

● 労働関係

前年より93万円多い814万円。
失業対策事業に必要な賃金、給与、手当、原材料費がおもなものです。失業対策事業従事者は現在15人です。

● 農林水産業関係

農林水産業費の総額は1億0,323万円。
農業委員会費65万円。
近代化、災害、農林漁業資金等の利子補給に777万円。
仁田之浜農道新設(延長400m)に650万円。
仁田之浜畑地総合整備事業930万円。
中之浜開墾農道(延長約300m)に900万円。
伊方越農道舗装(延長1,700m)800万円。
同上調査費に2,594万円。
松嶺虫防除費31万円。
宇和海漁場改良事業(漁礁設置)102万円。
中浦海岸保全事業に1,000万円。

● 商工関係

商工会補助金80万円。
社民組合補助金24万円。
町の中小企業振興融資の信用保証協会への預託金に100万円。

土木工事に2億円

● 土木関係
使われるお金のトップはこの土木費(25%)で2億3,834万円です。
町道整備計画調査費247万円。
湊浦伊方越線特殊改良工事1,700万円。
伊方宮内線改良工事1,700万円。
湊浦河内線改良工事1,000万円。
二見大松線改良工事700万円。
龜浦臨港線新設工事2,000万円。



こうした子どもたちがすくすく育つように……

伊方越崎山線新設工事 1,450万円。
生活圏道路舗装新設補修工事 200万円。
小中浦高砂対策事業 7,200万円。
仁田之浜物揚場築造工事 1,800万円。
大浜防波堤新設 900万円。

● 消防関係

予算総額 950万円。
団員報酬、出動手当に287万円、災害補償退職償金組合負担金135万円。
第5分団(湊浦)ポンプ格納庫新設費として290万円それぞれ予算化されています。

伊方中学校を改築

● 教育関係

前年度より5,844万円多い1億5,563万円です、この数字は使われるお金の第2位にあたります。
6つの小学校に要する管理費に1,002万円。小学校振興費890万円、このなかには教材費240万円と体位向上による小学校1～2年生用の机、イス買替え費204万円が含まれています。
2つの中学校に要する管理費437万円。中学校振興費672万円。
中学校建設費8,676万円。
伊方中学校危険校舎改築費として7,176万円のほか、L.L装置の導入費1,500万円が計上されています。
社会教育費597万円。
青年団育成費18万円、婦人会育成費15万円。PTA育成費15万円とそれぞれ25%アップされました。
公民館費294万円。
図書館の蔵書目標1万冊を5年間で達成するため、本年度1,500冊購入費75万円計上しています。また、移動図書館用車改造費16万円も予算化しました。
保健体育費100万円。
体育指導員5人から8人に増員。
町民運動会経費に36万円。
体協助成に18万円それぞれ予算化しました。

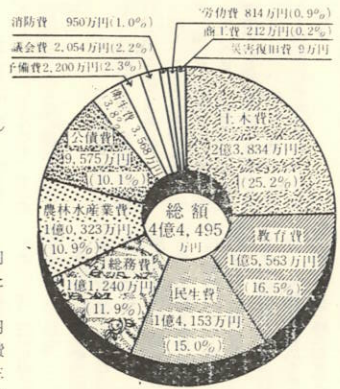
学校給食センター費1,536万円調理用具や食糧類の買替えに80万円。給食運搬車が老朽化したため買替えます。2台分207万円を計上しています。

● 災害復旧費

この近年、台風等の襲来もなく災害が非常に少なく、そのため当初予算では災害調査対策費の9万円のみ計上しています。

● 公債費

これは、町づくりのために町が国などから長期にわたって借入れたお金をかえず費用です。
償還元金 5,341万円。
償還利率 4,234万円。



● 予備費

本来の予備費100万円のほか、職員の給与改訂財源確保のための2,100万円が計上されています。

性質別にみると……

使われるお金を性質別にみると、まずトップは全体の40%をしめる建設事業に3億7,869万円。
ついで人件費の2億2,879万円が24%にあたります。物件費1億0,070万円。
つづいて公債費9,575万円(10%)、扶助費6,522万円(7%)、補助費3,938万円(4%)の順になっています。

